

令和6年度「小さな拠点づくり」情報発信業務・中国5県中山間地域対策スキルアップ研修会 質問回答

No.	質問項目	質問内容	回答
1	参加者の人数について	宿泊先の検討を行うにあたり、県外からの参加者の予定数をご教示いただきたい。また、過去の実績をいただきたい。	昨年度までにスキルアップ研修と事例報告会を合同で行った実績が無いため、正確な人数は把握していない。スキルアップ研修会に限ると、コロナ禍で直近はオンライン開催としていたが、対面開催で行ったR1年度の実績では、116名中55名程度であった。なお、オンラインで実施した昨年度(岡山県)の県外参加者は123名中82名である。
2	分科会について	それぞれの分科会は、別々の部屋を用意する必要があるか。それとも1つの会場内で4つ程度の分科会を同時進行的に実施する想定か。	基本は別々の部屋を用意していただきたい。どうしても会場の手配の関係で難しい場合は、1つの会場内で同時進行的に行うことも可能である。その場合、分科会ごとの仕切り(パーティション)は必要だと考えている。
3	郵送先について	ポスターやパンフレットの送付先は何ヶ所程度になるか。	ポスターは、県内の公民館や各市町村等350か所程度となる見込。パンフレットについては、上記に加え、NPO法人、中国他4県等も含めて幅広く周知を考えており、860箇所程度を見込んでいる。
4	協議(打ち合わせ)について	モデル地区との打ち合わせはオンラインでの打ち合わせは可能か。実績では協議回数はどれくらいだったのか。	相手方との調整次第ではあるが、調整がつけば可能である。昨年度のモデル4地区での打合せは、各地区の担当県職員が行っており、各地区で少なくとも3回程度は行っている。